

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣商業高等学校 学校番号 26

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな体を育成 (2) 地域、家庭、学校の連携協力による明るく、活力ある、地域社会人の育成		
2 評価する領域・分野	進路指導（就職指導・進学指導）		
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> 「進路情報の提供」について生徒のA評価が8%上昇(R1:47%→55%)し、C評価は5%(R1:7%→2%)と減少。保護者では、C評価8%(R1:8%→10%)増加した。また「具体的な進路指導」については生徒のA評価は3%上昇(R1:52%→55%)し、保護者ではA評価が3%(R1:33%→30%)減少した。C評価(R1:7%→7%)と横ばいである。コロナ禍だからこそ、今まで以上の情報提供を絶えず発信できるよう努めたい。 		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇就職指導＝①内定率100% ②基礎学力・コミュニケーション能力の養成 ◇進学指導＝①志望する大学等への進学100% ②基礎学力の定着と大学入試センター試験に対応できる学力の養成 		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員による指導意識の共有 ・全職員による小論文・面接指導 		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 就職指導＝①就職試験対策講座の充実 ②面接指導の強化 ③内定者に対しての継続学習 (2) 進学指導＝①週間課題(英語・国語)の実施 ②志望動機の書き方指導 ③合格者に対しての継続学習 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 一次試験合格者数、面接練習の進捗状況の把握 (2) 週間課題(英語・国語)の取組状況の把握と補習への参加状況 (3) 内定者・合格者の継続学習への取組状況の把握 		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 就職指導＝①就職説明会の実施(中止) ②適性検査の実施(9月) ③進路指導部(9月に実施)、業者による面接指導(中止) (2) 進学指導＝①小論文講習会(6月) ②週間課題(英語・国語)の実施 ③志望動機の書き方指導 	就職(12月現在) ①就職内定者97.2%達成 ②公務員希望者4名合格 進学(12月現在) ①国公立大学3名合格 公立短大2名合格 未定者 ①12月現在進路未決定3%	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D A <input checked="" type="checkbox"/> B C D	
11 成果・課題	○昨年度よりも求人件数が34%減少しているが、校内での就職者も減少しつつある。前期末3名の不合格者の内2名はまだ未定である。就職希望者66名が合格、公務員においては5名中4名が合格した。コロナ禍の中、就職試験開始の日程が変更されるなど、試験日まで不安な状況であった。生徒たちは集中して取り組めた。 ▲3月からの休校や上級検定試験の中止など、コロナ禍の中で生徒のモチベーションの維持が難しかった。 ▲保護者に対しても進路情報の提供不足だった。		総合評価 A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況で、生徒たちのモチベーションがさがらないよう、就職・進学指導に取り組みたい。 ・就職希望者への斡旋指導を、本人・保護者・ハローワークと連携を取りながら、例年以上にミスマッチにならない指導を実施する。 ・就職内定者に対して、今後の生活・学習態度についての指導を徹底していく。 ・進学希望者に対して、指定校推薦の意義と意欲的な学習姿勢の在り方を指導する。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年1月28日

【意見・要望・評価等】 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で就職、進学情報が不足している中、生徒の進路実現向け、キャリア教育も進められている。 ・生徒が、最後まで粘り強く進路実現に向け取り組むことができるよう、自主性と進路意識の涵養を図る。 ・地域社会の様々な資源(地域企業・自治体や大学等)を積極的に活用し、学年の早い段階から生徒の進路意識を高め、指導していくことが大切である。 ・進路希望調査の計画的な実施と計画的で戦略的な学習指導が大切である。
--